

(2) 主 催

福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会

(3) 期日、会場

- ① 地区研究協議会 7月下旬 1日間
県内16会場（別表1）
- ② 県研究協議会 10月4日～5日
県内12会場（別表2）

(4) 参加者 国・公・私立の小学校教員

(5) 指導助言者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

(6) 研究主題

- ① 国 語
国語力を高めるため読むことと書くことに関連指導は
どうあればよいか。
- ② 社 会
新学習指導要領の趣旨を生かした社会科の授業は、ど
うであればよいか。
- ③ 算 数
日常の事象を数理的にとらえ、筋道を立てて考え、処
理する能力と態度を育てる指導はどのようにすればよ
いか。
—基礎的な知識と技能を身につけさせる指導を中心と
して—
- ④ 理 科
児童が自ら問題を持ち、解決していく学習過程を、ど
のように計画し、指導すればよいか。
—基礎的、基本的な内容を重視した発達段階に応ずる
効果的な問題解決のあり方—
- ⑤ 音 楽
児童が進んで参加する楽しい授業は、どうあればよ
いか。
- ⑥ 図画工作
美的創造の芽を育てる図画工作の指導
—指導過程を重視して—
- ⑦ 家 庭
豊かな人間形成をめざす、実践的、体験的な学習指導
のあり方
- ⑧ 体 育
基礎体力と教材とのかかわり合いを明らかにした指導
はどうしたらよいか。
- ⑨ 道 徳
内面化をはかる授業をどう展開したらよいか。
—道徳的実践力の育成をめざして—
- ⑩ 特別活動
学校行事における児童の自主的な参加意欲を高めるた
めの指導はどうしたらよいか。
—学芸的行事について—
- ⑪ 教育評価
目標に応じた学習過程での評価により、児童の自己た
しかめをどう育てたらよいか。
- ⑫ 視聴覚教育
学習指導を改善するために、視聴覚教材、教育機器を
授業にどう組織したらよいか。

(7) 参加者数

- ① 地区研究協議会 （別表1）
- ② 県研究協議会 （別表2）

4 中学校教育研究協議会

(1) 目 的

中学校教育において、当面する教育課程の実施に伴う指
導上の諸問題について組織的な研究を行い、その結果をも
とに研究協議し、中学校教育の充実を図るとともに、教職
員の指導力の向上に資する。

(2) 主 催

福島県教育委員会、福島県中学校教育研究会

(3) 期 日

- ① 地区研究協議会 8月中旬 1日間
県内16会場（別表3）
- ② 県研究協議会 10月11日～12日 2日間
会津地区12会場（別表4）

(4) 参加者 国・公・私立の中学校教員

(5) 指導助言者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

() 研究主題

- ① 国 語
国語科の本質にねざした「表現力を高めるための指導」
を、どのようにしたらよいか。
—目的や場に応じて豊かに表現する力を育てる「話し
方・朗読」の指導—
- ② 社 会
公民的資質の基礎を養う指導は、どうあればよいか。
—社会事象を的確にとらえる能力の究明とその指導—
- ③ 数 学
数学科における基礎的・基本的な内容を、どのように
おさえ、指導したらよいか。
—数・式の領域における基礎的・基本的な内容とその
指導—
- ④ 理 科
自然を調べる能力と態度を育てるために、観察・実験
などの指導を、どのようにしたらよいか。
—観察・実験などの指導上の問題点と、その指導のあ
り方—
- ⑤ 音 楽
音楽科の本質にねざした表現の諸能力を育てる指導は、
どのようにしたらよいか。
—歌唱・器楽の基礎的諸能力を高める指導—
- ⑥ 美 術
はつらつとした表現をさせるためには、なにに着目し、
どのような手だてをするのが望ましいか。
—生活と造形活動との関係—
- ⑦ 保健体育
ゆとりあるしかも充実した保健体育の学習をするには、
どう計画し指導すればよいか。
—運動の合理的な実践をはかる指導—
- ⑧ 技術・家庭
実践的・体験的な学習をすすめるための指導計画は、